

## 会議等開催結果報告書

1. 会議名	令和3年度(2021)第1回出雲市介護保険運営協議会		
2. 開催日時	令和3年(2021)5月13日 木曜日 14:00～16:00		
3. 開催場所	出雲市役所 本庁6階 全員協議会室		
4. 出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>嵐谷直美委員、飯國吉子委員、石飛均委員、磯田洋平委員、伊藤智子委員、岩崎陽委員、大澤啓悟委員、尾上由紀委員、加藤哲夫委員、金森功委員、小林祥也委員、白築明子委員、塩飽邦憲委員、須谷生男委員、高橋幸男委員、高橋庸委員、原洋子委員、福場由紀子委員、祝部裕子委員、松本弘委員、三原順子委員、持田朱美委員、山崎文夫委員 (50音順)(23名)</p> <p>欠席：川谷吉正委員、中本稔委員 (2名)</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>健康福祉部長、高齢者福祉課長、医療介護連携課長 ほか</p>		
5. 会議等において検討された事項等	<p>1 開会</p> <p>2 健康福祉部長あいさつ</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 会長、副会長選出</p> <p>5 会長、副会長あいさつ</p> <p>6 議事</p> <p>(1) 令和3年度介護保険運営協議会・部会スケジュールについて <span style="float: right;">資料1</span></p> <p>(2) 第7期計画に係る令和2年度(2020)の評価等について <span style="float: right;">資料2</span></p> <p>(3) 第8期計画の介護サービス基盤整備の計画に基づく介護サービス事業者の公募スケジュールについて <span style="float: right;">資料3</span></p> <p>7 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度の事業実績について <span style="float: right;">資料4～資料7</span></p> <p>(2) 令和3年度介護人材の確保・定着に向けた事業計画について <span style="float: right;">資料8</span></p> <p>(3) 第1次在宅医療・介護連携推進基本計画(ルピナスプラン)について <span style="float: right;">資料9</span></p> <p>(4) 出雲市入退院連携ガイドラインについて <span style="float: right;">資料10</span></p> <p>8 閉会</p>		
6. 担当部署	健康福祉部高齢者福祉課、医療介護連携課	連絡先	0853-21-6212
7. 会議録	別添のとおり		

## 令和3年度(2021)第1回出雲市介護保険運営協議会会議録(要旨)

1. 開会	本協議会を公開で開催、 傍聴人 1名
2. 部長あいさつ	省略
3. 委員自己紹介	省略
4. 会長、副会長 選出	会長 塩飽邦憲委員 副会長 高橋幸男委員、伊藤智子委員
5. 会長、副会長 あいさつ	省略
6. 議事	
会長	<p>それでは、議題3点について</p> <p>(1) 令和3年度介護保険運営協議会・部会スケジュールについて</p> <p>(2) 第7期計画に係る令和2年度(2020)の評価等について</p> <p>(3) 第8期計画の介護サービス基盤整備の計画に基づく介護サービス事業者の公募スケジュールについて</p> <p>事務局から一括して説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p><u>資料1「令和3年度介護保険運営協議会・部会スケジュールについて」の説明</u></p> <p><u>資料2「第7期計画に係る令和2年度(2020)の評価等について」の説明</u></p> <p><u>資料3「第8期計画の介護サービス基盤整備の計画に基づく介護サービス事業者の公募スケジュールについて」の説明</u></p>
会長	<p>第1点目の会議のスケジュールについてですが、医師会の先生方にも多く出席していただいていますので、基本的に木曜日の午後、場合によっては水曜日の午後ということで計画をさせていただいています。ご了解いただきたいと思います。</p> <p>資料1について、ご質問等ありますでしょうか。</p>
委員	質疑なし
会長	<p>資料2の評価について、当初は基盤整備について市町村独自で取組をしてきたのですが、最近はPDCAといって、Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)というようなやり方になっており、第7期の評価結果を示しています。評価内容は第8期を見ていただくと、事業をやることを目標にしている。ケアがどれだけ改善されたかということの評価できたら良いのですが、それは非常に難しいことなので、国もやることを決めて、それができているかどうかを評価するというようにしています。資料2については、新型コロナの関係で今年の今頃、いろいろな活動が</p>

	<p>ストップしました。その後はガイドラインを決めていただいて、事業実施が回復しています。その関係で、できなかったところの評価が下がっています。</p> <p>資料3について、新任の委員さんにとっては、第8期にどうしてこのサービスだけがという疑問もお持ちかと思います。これについては、高齢者数の動き、65歳以上の高齢者のうち約2割が介護認定者ですが、その要介護度の動き、入所待ちの人がどのくらいで解消されているか、例えば「要介護4や5の人は1年以内に入所ができていくか」というようなことを考慮します。また、同じ要介護度でも入所と在宅サービスでは、サービス利用料が3倍くらい違います。現在、介護給付費は年間約180億円となっていますが、入所が多くなるともっと介護保険料を上げないといけない。それらのバランスを考えて第8期については、入所系のサービスは増設しないというところでは。</p> <p>在宅支援、特に病院の入院期間を短縮するという方向で国が誘導しており、そのため完全なリハビリをすることなく退院せざるを得ないということもありますので、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能居宅介護を増設するというのと、認知症グループホームをやめられた事業所もあるので、その分について整備するというのを、今回の介護サービス基盤整備として行っていくスケジュールです。</p> <p>在宅サービスについては、中学校区を生活圏域として念頭に置きながら整備してきました。認知症グループホームは、それを考慮しながらの公募ではありますが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能居宅介護については、全市的に対応もできるということで、生活圏域を考慮せずに公募するというものです。</p> <p>委員の皆様、なにかご質問等ありませんか。</p>
A 委員	<p>今後の介護の流れとして、今回の第8期では、入院期間が短くなって医療ニーズが高いところを在宅でということだと思いますが、第8期から第9期に流れていった時に、このようなニーズが続いていくとしたら、介護というより医療に寄ったような施設が必要ではないかと思います。そうしたサービスを第8期、第9期に、どんどん進めていくというような流れを、この会議で審議していくということですか。</p>
事務局	<p>施設系については、将来を見据えれば高齢者が減ってくるという状況の中で、高齢者数のピークは2040年と国では言っていますが、出雲市はもう少しピークは早いのではないかと見込んでいます。そうした中で、在宅を中心に取組を進めていますが、医療圏域の中で、第8期計画期間中に介護医療院の新增設がある程度予定されています。そうしたことを踏まえて、地域密着型の中では入所系の施設の増設は行わないというところでは。</p>
会長	<p>高齢者の人口は増えないけれど、後期高齢者その内85歳以上が占める割合が増えていく。高齢なほど医療ニーズは高まって、肺炎、心不全、認知症などが増えてきます。どうしても慢性期の医療介護のニーズは高まっていくであろうと考えます。その受け皿を当面、介護医療院で設定をしているところです。幸いにも、出雲市では、在宅支援療養所等が頑張っているところですが、総合的にどのような形でできるのかということは、医療機関の動向を含めて対応しないといけないところである</p>

	<p>うと考えます。</p> <p>グループホーム、老健、特養などの入所待ちの数、空き状況を見ながら計画を立てているところですが、高齢者の人口が減る中で介護だけでは厳しいという事業所があれば、医療も含めた所が必要であると思います。可能であれば、在宅で達成できればいいわけですが、それらを見据えながら、第8期中にその後の方向を議論していただけたらと思っています。</p> <p>その他にいかがでしょうか。</p>
委員	質疑なし
会長	<p>特にご意見ご質問なければ、一括で説明いただきました3議題について、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし
会長	<p>では、承認とさせていただきます。</p> <p>次に、報告事項の(1)令和2年度の事業実績について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<u>資料4～資料7「令和2年度の事業実績について」の説明</u>
会長	<p>介護保険の事業は、要介護者や要支援者への介護サービス事業、要支援までいかない高齢者への介護予防事業、高齢者福祉事業にあるシルバー人材センター助成事業や独自事業の老老介護支援事業など、いろいろな事業を含んでいます。給付費の多くは、介護サービスで、以前は入所サービスが多かったのですが、段々在宅サービスが増えてきている状況です。予防についても力を入れるようになって、予防給付や予防の活動等に少しずつ支出がされるようになってきています。</p> <p>第8期の計画策定では、あまり議論しませんでした。資料4の1ページ、認定者の一番下のところに事業対象者数を入れていただいています。これは、総合事業で、チェックリストにより認定のない人でも支援サービスを利用できるというものです。事業対象者は福祉用具や住宅改修を利用することができません。また、デイサービスの回数制限があるため、事業対象者数があまり伸びなく、当初想定していた総合事業が伸びていない状況です。</p> <p>そうしたことの反省の上で、10ページにある「通いの場」の立ち上げにより「場」をみんなで作るというところに、重きを置いた事業展開となっています。費用面について17ページにあるように、一般介護予防事業の中では、地域介護予防活動事業のふれあいサロンの運営助成が大きく、「通いの場」が含まれている介護予防普及啓発事業は、少しずつ伸びてきていますが、まだまだこれからというところです。</p> <p>先ほどのA委員からのご質問について、資料4の1ページの要介護度の推移の中で、要介護だけを見ると要介護2や3以上で高齢化が進み、85歳以上の人口が増えているものの、要介護自体はあまり増加していない傾向であると思います。このこと</p>

	<p>と、医療ニーズがあるというのはまた別なので、要介護の介護サービスについては、このような状況であるかと思えます。</p> <p>認知症の自立度の推移について、3ページに平成28年度から整理していただいて、参考としてわかるようになっていました。Ⅲa、Ⅲb、Ⅳのランクの人の割合は少し減少していますね。世界的にも先進国では、認知症の有病率は低下気味なので同じ傾向かなと思えます。こういうところも見ながらニーズに対応していくということを、この会議でご審議いただけたらと思います。</p> <p>参考資料で、面白いなと思った所が、9ページにある1月あたりの受給率の推移で、島根県と出雲市で、65歳以上の1号被保険者でどういう動向にあるかというところなんです。在宅サービスは出雲市の方が段々多くなって、施設系のサービスについてはどちらかと言えば、下がっている。出雲市は島根県全体を見ると在宅サービスに重きが置かれていると思えます。</p> <p>それから、新任の委員様に知っておいてもらいたいのが、8ページの表の歳入で、令和2年度は約174億円ですが、保険料の39億円、これは1号被保険者の保険料であり全体の23%、2号被保険者（40歳～64歳）の保険料は支払基金交付金であり全体の27%、合わせて5割となります。それ以外は、国、県、市が出して運営をしている状況となっています。歳出がどんどん増えていくと、保険料を上げざるを得ないという状況になります。</p> <p>基本的には、皆さんが元気に活動できるような自立した高齢者になっていただくことが一番大事であり、そういう面で介護予防に力が入っていると思えます。</p> <p>どなたかご発言はございませんか。</p>
B 委員	<p>ふれあいサロンの報告をさせていただきます。11ページ下段の合計数字のみですが、334のサロン数に対して、開催数1,725回、延べ参加者数23,903人となっております。コロナ禍ということで、市の方から年度初めに「開催の自粛要請」があり、6月頃に「実施にあたっての留意事項」が出されました。その後、再開にあたり社協から、各地域に出向いて具体的な感染予防対策の研修を行っています。再開されたところは、約半数の169箇所でした。全くやっていない0回というところが残りの数（165箇所）です。334のサロン数を開催数で割ると平均5.2回となります。再開したところだけで、平均数を出すと10.2回の開催となっています。</p> <p>月1回以上の開催を目標にしていますが、地域の団体では、なかなか開催しにくいというところもあります。31サロンは毎月開催しておられ、中でも、週に1回開催しておられるところが2サロンあります。以上、集計のまとめです。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>質疑なし</p>

会長	<p>続きまして、(2) 令和3年度介護人材の確保・定着に向けた事業計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u>資料8「令和3年度介護人材の確保・定着に向けた事業計画について」の説明</u></p>
会長	<p>このことについて、なにかご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>質疑なし</p>
会長	<p>介護人材の確保ということが喫緊の課題となっていますので、ここ数年、力を入れて取り組んでいただいています。</p> <p>続いて、最後の報告になりますが、第1次在宅医療・介護連携推進基本計画と出雲市入退院連携ガイドラインについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><u>資料 9「第1次在宅医療・介護連携推進基本計画（ルピナスプラン）について」</u> <u>資料10「出雲市入退院連携ガイドラインについて」の説明</u></p>
会長	<p>出雲は、出雲医師会のいろいろなご努力もあり、医療の連携について、従来から非常に良く、情報の交換も「まめネット」を活用しながら実施していただいています。それが介護まで広がり、それをより促進するために、この2つのプランとガイドラインを作っていただいたところです。</p> <p>新任の委員さんは、このガイドラインの5ページにあります、将来を見据えて事前に家族でご自身の意思をご家族で話していただくという「あんしんノート」を作って無料配付をしていますので、ぜひ手に取って普及もお願いできればと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>質疑なし</p>
会長	<p>議事、報告が終わりました。</p> <p>新型コロナウイルス感染対策として、新しい暮らし方をすることでも重要です。今は、ワクチンを打つ速度と変異ウイルスとの競合状態となっています。できるだけ、ワクチン接種を受けていただくようお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>会長様、委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>本年度は、第8期計画の初年度となります。確実に事業を実施していきたいと思っていますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上を持ちまして、会議を終了いたします。</p>